

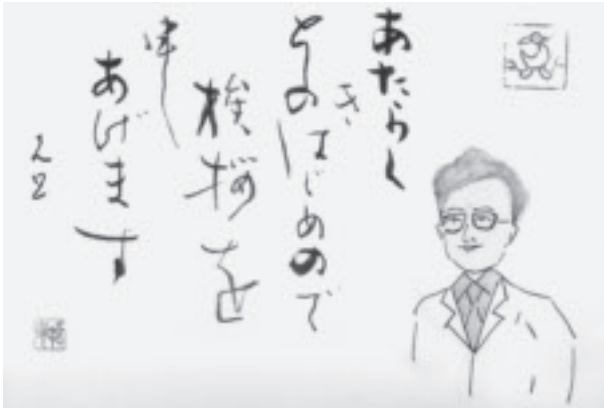
股関節だより

第 16 号

平成17年 1 月

■発行日 平成17年 1 月31日

教授 佛淵 孝夫



あけましておめでとうございます。

昨年は大きな台風に地震などの自然災害に見舞われた1年でした。「股関節だより」16号をお届けいたします。今年の明るい話題は何と言いましても「人工関節学講座」の設置です。以下に詳しく説明いたします。

相変わらず全国から来院していただいております。最近の動向について園畑先生に紹介していただきます。

1. 「人工関節学講座」設置について

平成17年1月より寄附講座「人工関節学講座」がスタートする運びとなりました。寄附講座とは法人あるいは個人の寄付により大学に研究や教育などを行う「講座」を設置することです。寄付はいったん大学（国立大学であれば国庫）に納められ、そこから人件費を含めた研究費などが支払われます。この際寄付した法人あるいは個人の名前を付けても構いません。例えば私が寄付すれば「佛淵股関節学講座」を作ることにも出来ます。（私の場合、大学を辞めて何かの事業で成功しない限り出来ませんが・・・）いずれにしても何かはっきりした目的のために出来る講座で、同じ税金に取られるならば・・・と、欧米では盛んに行われている制度です。わが国でも旧国立大学を中心に医学や工学などの分野で数多くの寄附講座が作られるようになって来ました。

今回の「人工関節学講座」は（株）日本メディカ

ルマテリアル（JMM：京セラと神戸製鋼が出資した会社で、日本最大の人工関節メーカー）のご好意により実現したものです。人工関節に関する寄附講座はわが国の整形外科では初めてのものです。目的は「和式の生活に対応できる人工関節の開発」であり、助教授1名、助手2名のスタッフ人件費と研究費が寄付によって運営されます。この講座の設置により、これまで佐賀大学工学部や他大学、企業などと構築してきた「人工関節プロジェクト」が名実ともに日本最大の研究グループになりました。

一応3年間の期限付きではありますが、研究はもちろんのこと手術件数が増加している病院での活躍が期待されます。この講座の助教授ポストには九州大学時代15年以上にわたって私と診療や研究をともにした馬渡正明先生（鹿島高校卒、現福岡整形外科）が就任することになりました。馬渡先生は全国でもトップクラスの技術と手術件数を誇る股関節外科医です。既に福岡県から馬渡先生の手術予約が入っています。

股関節と並んで人工関節手術の多い膝関節は最近では年間100件余です。これまでは伊藤純先生一人では大変でしたので私も膝の手術をさせていただいていましたが、現在多久市立病院に勤務中の井手衆也先生が今年から大学に帰って来ました。これからは私自身は股関節に専念できそうです。このように股関節も膝関節も手術スタッフが充実してきました。さらに園畑先生も加わりましたが、その一方で重松先生は更なる飛躍を目指して、全国屈指の整形外科病院であります北海道の「えにわ病院」に本年6月から1年間の予定で武者修行に出かける予定です。

2. 人工関節の手術室が増えます。

これまでの念願でありました人工関節手術が可能なクリーンルームがもう一室完成予定です。皆様ご存知のように人工関節手術は感染が大きな問題です。つまり人工関節という「異物」が体内に入りますので化膿しやすく、また一旦化膿するとなかなか治り難くなります。そこで人工関節手術は病原菌の少ないきれいな手術室で行う必要があります。クリーンルームというのは普通の手術室より約100倍きれいな部屋だと考えてよいと思います。佐賀大学にはこれまでクリーンルームが1室しかありませんでしたが、今後は2室使えるようになります。3月

中には完成予定とのこと。ちなみに、佐賀大学以外に年間500件以上手術を行っているのは、全国では先のえにわ病院と沖縄の豊見城中央病院の3つですが、佐賀大学以外の病院にはクリーンルームが4室あります。

これまで8か月待ちの患者さんにもう少し早く対処できる予定です。これで私自身の責任と多忙さが少しは緩和するのではないかと期待しています。

3. アジアのセンターを目指して

後述の資料でもお分かりのように佐賀大学は大学病院としては第2位の日大板橋病院に比べて約2倍の手術件数で全国ダントツ1位の病院です。このように佐賀大学病院は既にわが国の人工関節のセンター、あるいはメッカとなっていますが、今後はアジアにおける人工関節のセンターを目指し、近隣アジア諸国からの研修を受け入れる予定です。

その為には単に手術件数だけでなく、より高性能の人工関節の開発、より患者さんに優しい診療システムを目指したいと考えています。そしてその成果が国内はもとより海外でも役に立てば幸いです。

4. 医療の三大原則

医療の原則は①効果のあることを②効率的に③公平に行うこととされています。出来るだけこの原則に立って診療を行いたいと考えていますが、実はこの3つを同時に実現するのは困難とされています。しかし努力しなければなりません。

① 効果のあることを

より効果のある医療を目指すには、治療から予防への発想の転換が必要です。しかし、予防しきれない病気があります。そのような場合には出来るだけ早期に治療を行うことが治療効果をあげることになります。若い人の股関節の病気では早期に骨切り術（自分の骨で治療）することが大事ですし、人工関節の手術でもより性能の高いものが望まれます。さらにもっと重要なことは安全な治療です。合併症や副作用が起こってしまうと「少なくとも手術する前より悪くしないように」という先人の教えに背くこととなります。患者サイドは当然のこと、医療者側にとってもこれほどつらいことはありません。

② 効率的に

言うまでもなく自分が病気になったら早く治してほしいと思います。「検査も治療もダラダラとやるのではなく、さっさとやってほしい。」不死身だと思っていた(?)私自身が昨年4月、3日間入院したときの体験です。「私は来週から手術するつもりだ。患者さんが何百人も待っている。」とわがままを言って、まさに効率的な診療をしていただきました。おかげで、3日後には何とか職場復帰できました。もちろん医療資源の有効利用、医療財政の健全

化などの点からも効率化は重要ですが、なにより患者にとって大事なことです。

③ 公平に

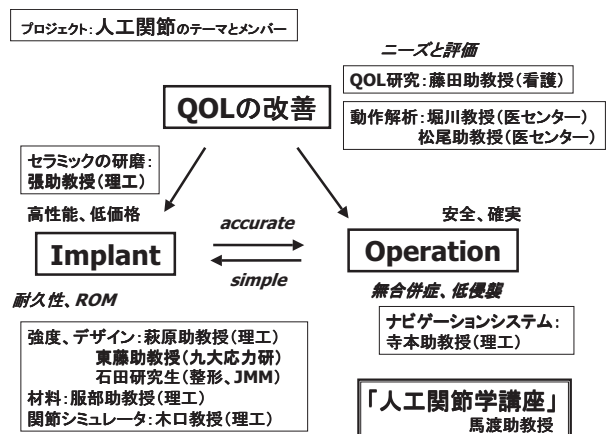
ある意味これがもっとも困難かもしれません。地域や経済状態によって、あるいはコネの有る無しで入院待ちの期間や受けられる医療そのものに差が生じる場合があります。佐賀大学整形外科では急患以外は原則「来院順」です。

遠方からお見えの患者さんに対しては、出来るだけお近くでの手術をお勧めしていますが、おそらく今年は県外からの患者さんが県内からの患者さんを上回りそうです。このような現象は「医療に格差」がある証拠かもしれません。「何処に住んでいても、誰でも公平に良質の医療が受けられる」ことが重要です。私たちの大きな課題の一つです。

5. 最後に

私たちの今年のテーマは「クリニカルガバナンス」です。これは「病院などの医療組織をより安全で良質のサービスを提供するための組織として規律付け、統治（ガバナンス）する仕組みづくり」とされています。もともと英国医療制度改革の中で誕生したものです。最近の相次ぐ医療事故やカルテの改ざん、医療サービスの低下などに対する方策として期待されています。その目的の一つである「継続的な改善」は私たちが取り組んできた課題そのものでもあります。もう一度自分たちの医療を見直す機会にしたいと思っています。

今年が皆様にとって良い年でありますことをお祈り申し上げます。



佐賀大学整形外科手術実績動向

園畑 素樹

皆様はじめまして。整形外科の園畑（そのはた）です。昨年4月より佐賀大学で勤務しています。これまでは、「手の外科」を専門として臨床を行っていましたが、佛淵教授の命により、このたび股関節班の一員として臨床に携わることとなりましたので、よろしくお祈りいたします。

ご挨拶だけでは申し訳ありませんので、佐賀大学整形外科の現状につきまして一部紹介させていただきます。

I. 佐賀大学整形外科手術件数（図1）

平成10年の9月に佛淵教授が着任されてから、着実に整形外科の手術件数は増加しています。平成15年度は、833例と、佛淵教授が着任される前の約3倍となっています。もちろん、佐賀大学の中でも最も多い数字です（ちなみに2番目に多い診療科は444例です）。

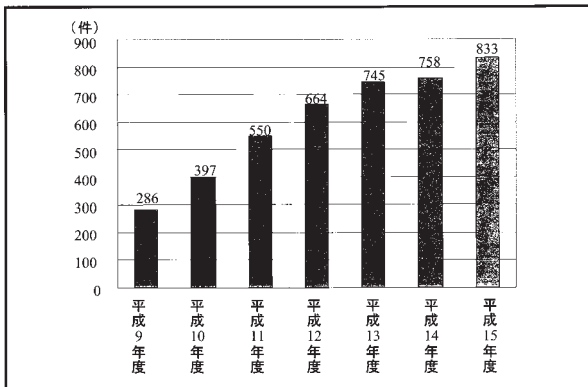


図1 整形外科手術件数の年次推移

II. 佐賀大学人工関節手術件数（図2）

手術件数の増加の多くは、もちろん股関節手術の増加によるところが非常に大きく、人工股関節手術、骨切り手術共に年々増加しています。また、図

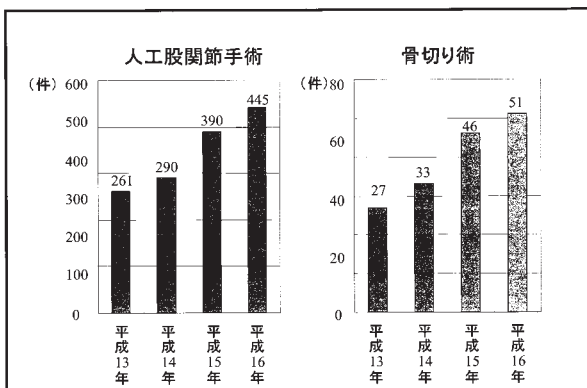


図2 股関節手術件数の年次推移

には示していませんが、膝の人工関節手術や脊椎の手術も年々増加しています（平成16年、人工膝関節113例、脊椎手術67例）。

III. 人工関節全国ランキング（図3）

これは読売新聞の調査を基に作成したもので、股関節に限らず、膝・肘・肩等の手術も含んだものです。手前味噌で申し訳ありませんが、股関節に限ってのランキングであれば佐賀大学が大差をつけての1位です。

皆様ご存知のことと思いますが、人工関節手術は感染に非常に気をを使う手術ですので、通常の手術室ではなく、クリーンルームという清潔度が高い特殊な手術室で行うのが一般的です。ところが、佐賀大学にはクリーンルームが1室しかありません。ちなみに、ランキング1位と2位の施設にはどちらもクリーンルームが4室あります。うらやましい限りです。平成16年は、たった1室のクリーンルームで507例の股関節と膝関節の人工関節手術を行いました。詰め込み具合では全国ダントツ1位でしょう。しかし、これは決して褒められたことではありません。大学病院側もこの状況を見かねたのか、今年、クリーンルームが1室増室されることになり、平成17年春より稼動する予定です。入院までの待ち時間が短くなることを期待しています。

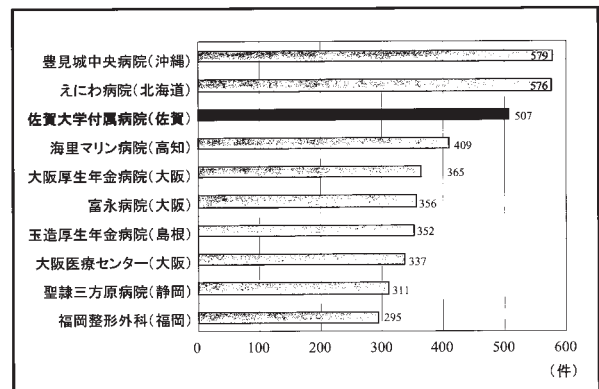


図3 人工関節置換術件数、全国ベスト10(2003)

IV. 人工関節大学病院ランキング（図4）

北部九州が激戦区であることがお分かりいただけるでしょうか。佐賀大学、九州大学、福岡大学、久留米大学、と4つの大学がランクインしています。お互いの大学が切磋琢磨し、より良い人工関節とより優れた手術手技の開発ができればと思います。

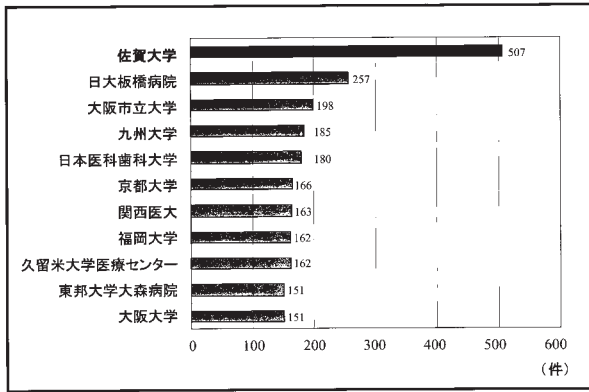


図4 人工関節置換術件数、大学病院ベスト10 (2003年)

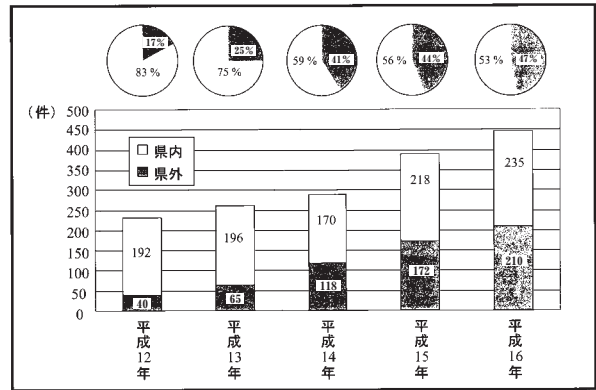


図5 人工股関節の地域別患者数

V. 患者様の地域性 (図5)

患者様同士の口コミや紹介、インターネットでの検索、遠方の先生方からの紹介により、遠方から来院される方が年々増加しています。現在は、人工股関節手術を受けられる患者様の約半数が佐賀県外から来られています。

全体的に手術の多さを強調したような文面になってしまいましたが、私たちは決して手術件数を増やすことを目的に診療をしているわけではありません。しかし、手術件数や他県から多くの患者さまが受診されることは、私たちの診療に対するひとつの評価

であると考えています。

以上、簡単ではありますが佐賀大学整形外科の現状について紹介させていただきました。皆様には多大なご迷惑をおかけしている入院までの待ち時間についても御理解（言い訳がましくて申し訳ありませんが）していただけたのではないのでしょうか。今後も、佐賀・九州のみならず、日本全国の股関節疾患に苦しむ方々のお役に立てるよう、努力していきたいと考えています。

新任のご挨拶

佐賀大学 人工関節学講座 助教授 馬渡 正明



はじめまして。このたび新設されました人工関節学講座の助教授に赴任しました馬渡正明です。まず自己紹介をします。出身は地元の佐賀県杵島郡有明町で、県立鹿島高校卒業（S52卒）です。昭和58年に九州大学医学部を卒業しまし

た。そして九州大学医学部整形外科教室（杉岡洋一教授）に入局し、その後大学院や米国留学（スタンフォード大学医学部整形外科）を経て九大整形外科の助手、助手講師となりました。平成9年12月より福岡市の福岡整形外科病院で医長として働いていました。そしてこの平成17年1月よりこちらに参りました。専門は関節外科、特に股関節外科です。これまで約800例の股関節手術（各種骨切り術、人工関節置換術（THA）など）を執刀してきました。最近では小切開でのTHAに積極的に取り組んでおります。今後は新しい人工関節の開発に取り組む予定で

す。

佛淵教授との出会いは九州大学入学時にさかのぼります。入学後バレーボール部に入部したのですが、そのときの5年生のキャプテンが佛淵先生でした。以来約27年間公私ともにご指導いただいています。整形外科医になったのも股関節が専門になったのもすべては佛淵先生の影響・・・というわけでもありません。そのまた上の股関節外科の大家である杉岡先生がバレー部の部長であったというところに源があります。杉岡先生、佛淵先生という2代の股関節外科の達人に指導を受けたのは私だけと自負しております。まだまだ未熟ですが、この佐賀の地ですこしでも患者さんのために貢献できるように努力するつもりです。佛淵先生が築き上げてこられた「佐賀大学整形外科」がさらに発展するように協力していきたいと思ひます。くれぐれも宜しくお願いします。

寛骨臼骨切り術後患者さまに対する 退院後のアンケート調査

重松 正森

整形外科の重松です。

昨年、寛骨臼骨切り術をおこなった患者様に対してアンケートをお願いし、80名から回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

時代が変わるとともに、治療に対する期待、満足も変わってきました。以前は「日常生活に困らなければ」だったのが、今は生活の質の向上が求められています。このアンケートはみなさんの退院後の状態を調査し、私たちの医療を改善・向上するために行なわせていただきました。

アンケートは2つあったと思います。1つは私たちが独自で作成したもの、もう1つは世界中で使用されているものです。後者を見られた方には「なんでこんなのに答えなければならぬのだろう」と思われた方もおられると思いますが、(先入観を与えないため)説明してはいけない規則になっていましたので御理解ください。今回はまとめのみを報告いたします。

復職していますか？



車の運転をしていますか？



杖を使用していますか？



図 1

仕事ができる

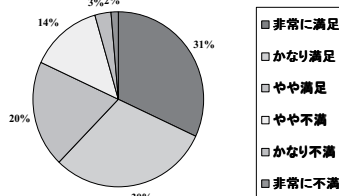


図 2

自分が受けた手術を同じような病気の方に
すすめたいと思いますか。

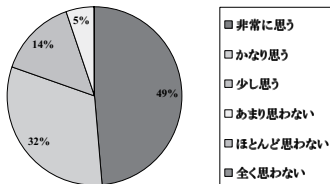


図 3

まず退院後の生活ですが、90%以上が元の職場に復職し、ほぼ全員が杖を使用していませんでした(図1)。現在の仕事に対して75%以上が満足されておられました(図2)。また、「人にこの手術を勧めたいか」との問いに対し90%以上にイエスと回答していただきました(図3)。

図4~6は日本人の国民標準値を50点として、その標準偏差を10点として変換したものです。このスコアリングでは、身体機能(PF)を除き、国民標

国民標準値との比較

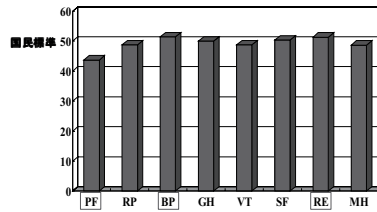


図 4

初期 v.s. 進行期

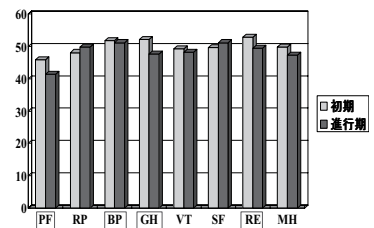


図 5

術後年数による変化

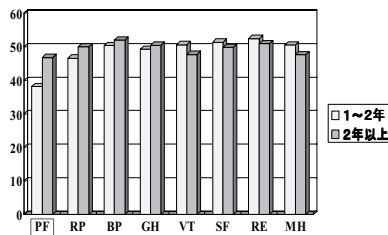


図 6

準値とほぼ同等でした。日常役割機能(RE)の点数はむしろ高い傾向を示していました(図4)。

これを手術時の股関節症の状態で見ると、進行期(軟骨がだいぶ擦れている方)では身体機能(PF)は低く、初期群(軟骨があまり擦れてない方)では、全体的健康感、日常役割機能の点数は国民標準よりやや高い傾向を示していました(図5)。

術後経過年数で分けると、身体機能(PF)を除く7つの項目は標準値と差はありませんでした。身体機能(PF)は2年未満ではかなり低いものの、2年以上経過するとほぼ国民標準近くまで回復していました(図6)。

以上を簡単にまとめると、

- 1) 全体の満足度としては非常に高い
- 2) 術前の股関節の状態が初期の方はだいたい1年で日常生活が日本人の国民標準レベルに回復している。
- 3) 進行期だった方は国民標準レベルに回復するまでに2年以上かかることが多い。

という結果になりました。紙面の関係上、まずはまとめだけを報告させて頂きました。退院後の詳しい状態(歩行、痛みなど)や受診までの経過、入院中の満足度、要望などの結果については、別号にて報告させていただきます。

ご協力、本当にありがとうございました。

新生股関節くんとのお会い

山本 哲史様

2004. 4. 12 (月) 術後18日目 退院1日目

退院の日。待てど暮らせどお迎えが来ず。連絡のしようがないなーと案じていたら、息子の携帯電話が書いてあることを思い出す。来ないはず、嬉野まで行っている。12時過ぎにお迎えが来る。

教授・長嶺先生・看護師・看護助手の皆さんありがとうございました。

久留米の一本桜(樹齢100年)・百年ツツジ公園を經由して、熊本県白川温泉しらかわ(63. 114/115)に泊まる。矢張り大きな浴槽の温泉は最高。手も身体も心も十二分に伸ばすことが出来る。最高最高!!息子・女房と3人で退院祝いだ。

温泉に入ること蒲団に寝ることもあまり大きな不都合は感じない。お酒を飲むことも同様。

2004. 4. 13 (火) 術後19日目 退院2日目

早朝から出発まで露天風呂に3回浸かる(63. 116/117/118)。やまなみハイウェイ経由で阿蘇大観峰へ。途中日本百名水に登録されている池上水源で水を汲む。大観峰では駐車場から端の展望台まで歩いた。もちろん杖は使用。

周防猿回しの公園を見て笑い転げ、阿蘇白川の本桜一心行の大桜を見学。既に花は散っていたが見学者多数。樹齢400年とあって見事なものだ。後白川水源に。日本百名水だ。コンコンと湧出する水を見ていると自然の神秘さを感じる。水を汲む。水道水よりも遥かにおいしい。昨日今日とインターを出るときは小生が運転する。足のむくみ、内出血は相変わらず。歩行は十分は出来る。

2004. 4. 14 (水) 術後20日目 退院3日目

朝河川公園を散歩。Tステッキを使用。約3000歩。困難はない。左足甲の腫れはいまだ退かず。押さえると跡がつく。踝も痛い。元の職場萩工高に行きウダウダしゃべる。午後は近所のおばさんと話をする。萩本陣温泉(63. 119)

2004. 4. 15 (木) 術後21日目 退院4日目

朝河川公園を散歩。昨日同様特に違和感はない。足の腫れ、踝の痛みは同様。阿武町の日本海温泉テルメ阿胡(63. 120)。

2004. 4. 16 (金) 術後22日目 退院5日目

朝1時間半くらい散歩をする。Tステッキ使用。足・膝に重みを感じないので快適に歩ける。でも多分真剣な顔をして歩いていただろう。4月22日に前置換術手術をする山本裕美子さんが訪ねてくる。分かる範囲で話をする。彼女は田舎の近所であり、お袋さんも安心されて居るみたい。午後田舎に帰る。山本裕美子氏の家に行きお袋さんと話をする。家の前の川端でワラビを摘む。傾斜地だが杖なしで大丈夫だ。萩本陣温泉(63. 121)。田舎に泊まる。

2004. 4. 17 (土) 術後23日目 退院6日目

朝状況はあまり変わらない。萩に帰る。新聞販売店に話しに行く。見舞いに来てくれた人だ。後河川公園に散歩に行く。グランドゴルフをやっていた。会員になっているので散歩はやめて入れて貰い、一緒にやる。術前に比べると遥かに歩きやすい。歩きがよくなったと人も言ってくれる。

午後宇部の展示場に。帰りにアジス温泉宇部72アジスパホテル(62. 122)。運転は全て小生。

2004. 4. 18 (日) 術後24日目 退院7日目

まだ、朝起きだち左足が重たい。小指の筋の腫れが残っており押さえると跡がつく。内側のくるぶしとその後ろ側、上方にかけて腫れており痛さを感じる。歩行し始めはぎこちない感じがする。

町内子供会の顧問に事後承諾でさせられている。子供会の廃品回収日。品目は新聞、雑誌、段ボール、アルミ缶、古着、一升瓶、ビール瓶。あまり動かず子どもに指示をする。午前中かかる。

昼寝。後ナフコで車のマットを購入し庭の草取り。膝をつくの丁度良い。夕刻、ごほうびに湯の口温泉天宿へ。雨がザーザーと降り出す。久しぶりに恵みの雨。これで畑が少し潤うだろう。美東町湯の口温泉天宿(65. 123)。

2004. 4. 19 (月) 術後25日目 退院8日目

早朝目が覚めてみると、家の前の市道を塞いでいるものがある。我が家の屋根付テラスだ。一人や二人では動かない。制作者の阿波さんに電話をする。9時半頃来て、解体して道が通れるようにしてくれた。建て替えはまたやって呉れるそうだ。川上村阿武川温泉(65. 124)。温泉でジェットがあるとこ

ろでは、足首に当てて、ほぐしている。

2004. 4. 20 (火) 術後26日目 退院9日目

温泉の影響か、少しは足首の調子がよいように思える。20日は温泉の日。昼前から『温泉博士』を持って温泉巡り。湯の口温泉天宿 (65. 125)。菊川温泉華陽 (66. 126)。

2004. 4. 21 (水) 術後27日目 退院10日目

朝田舎の福賀に帰る。実家だが誰も居ないので小生が管理。畑は大草と、一面菜の花畑になっている。種まきをしなければいけないが、まず草を刈らなければ。草刈はまだ自信がないので今日はやめる。川端でワラビ摘み。あまりなかったのもっとありそうな西台・東台 (いずれも小高い山) に行ってみる。思ったほどはなかった。ほかの山にも行ってみたが同様。まだ早いのかも知れない。杖なしで丘歩きも大丈夫。津和野温泉あさぎりの湯 (66・127)。

2004. 4. 22 (木) 術後28日目 退院11日目

トヨペットで『トヨタ純正タンクッション』を購入。10,000円弱。運転席でのご使用はおやめくださいと書いてあるが、なかなかの優れものだ。

昼前から息子の移転で広島へ。運転は息子がする。狭いアパートなのであまり荷物は持っていないと言いながら、ワゴン一杯になる。貸借の手続きの後、荷物を降ろす。腫れはまだあり、踝も正常ではない。

その後小生は温泉めぐりに出かける。広島県千代田町の養老温泉 (67. 128)。養老温泉に泊まる。

2004. 4. 23 (金) 術後29日目 退院12日目

温泉巡り2日目。養老温泉 (67. 129)。千代田町の千代田温泉 (68. 130)。島根県スコラ高原帝釈の湯 (69. 131)。亀嵩温泉玉峰山荘 (70. 132)。出雲須佐すさのうの郷ゆかり館 (71. 133)。温泉巡り約300km。運転するのに特に違和感はない。

息子は明日友達の結婚式があるというのでとにかく帰らなければ。

2004. 4. 24 (土) 術後30日目 退院13日目

朝7時過ぎ萩を出発。帰省。農事組合法人“あぶの郷”の農業機械倉庫並びに乾燥機庫落成式の準備。10時半より落成式。開閉式の言葉を言わせられる。神事ほか滞りなく行われる。11時半より小宴。広島県の神楽舞もあり立派な落成式だった。器具庫

2棟で1300万円。事務所100万円。農機具4000万円位だそうだ。後始末の後役員が打ち上げ。後萩にでることになる。7人で出かける。田舎に帰ったのは12時過ぎ。10時間位やったことになる。温泉は×。福賀に泊まる。飲むことも大丈夫のようだ。

2004. 4. 25 (日) 術後30日目 退院14日目

朝は少し起きづらかった。22日に手術をした山本裕美子氏の母親に話を聞きに行く。経過は良好のようだ。午後は一面菜の花畑なので、一本竿の刈払機を使い刈る。

県道に面している土手の草刈もする。手術した方の腰に機械を置いたので、少し負担が掛かったのか夜股関節が痛かった。夜は地鎮祭のための縄をなう。萩に帰る。

萩本陣温泉 (71. 134)。

2004. 4. 26 (月) 術後31日目 退院15日目

朝阿波さんが来て、倒れていた屋根付テラスを組み立ててくれる。小生は県中央病院神経科へ外来。同級生のお友達と病院で待ち合わせ。場所がよくないがまあいいか。主人は心臓にチタンを入れているとか。動物の弁にすると薬を飲まなくてすむが交換が必要、人工物を入れると、交換は不要だが血液サラサラの薬を飲まないといけないとか。宇部の国立山陽病院に、法人理事長のお見舞いに行く。肺がんとか？本陣温泉 (71・135)。

2004. 4. 27 (火) 術後32日目 退院16日目

午後庭の草引き。草は文句も言わずに、時期が来ると自発的に生えてきて、子孫を増やそうとすると同時に、自然界は節度を考えているらしく、必要以上の事はしない。鳥や獣長かに至るまで、腹一杯になれば食べるのをやめ、増えすぎると枯れていく。お金も年金以外に自動的に増えないかな。人間は欲とエゴの固まりか。阿武川温泉 (71. 136)。

2004. 4. 28 (水) 術後33日目 退院17日目

夢のみずうみ村 (71,137) へ。プール・パソコン。プールでは水流に対して逆走するも、術前に比べれば楽勝。按摩をとって貰う。

2004. 4. 29 (木) 術後34日目 退院18日目

世の中は4月29日から連休という。我輩には関係のない事柄。朝庭の草引きを少々。芝の中の草は刈ることも掘ることも出来ない。引き抜くのみ。肥土を少々ネコ車で移動する。阿武川温泉 (71,138)。

2004. 4. 30 (金) 術後35日目 退院19日目

朝庭の草引き。スズメのテッポウが長く伸びている。生け垣の剪定もする。午後は能美氏に軽トラを借りて焼却場に搬入。土の移動も行う。夕刻帰省。むつみ村むつみ温泉 (71,139)。ジェット水流で足の甲や筋をマッサージ。腫れは大体退いた感じがする。泊まる。

2004. 5. 1 (土) 術後36日目 退院20日目

昨年の今頃は鬱で一日に26時間位寝ていた。医者の方によるものか、自己治癒力によるものか、いずれにしても普通の生活が出来るということは有り難いことだ。10時頃より草刈をする。燃料切れで一休み。

佐賀大医で小生と同じ手術をした山本裕美子氏の家に行く。経過は順調の様子だ。退院後の生活のために、家の改造(上がり口の段差)を行っていた。

昼前からまた草刈り。特に痛いとかきついつとかの感じはない。昼には一杯やり昼寝。5時頃から自然薯の植え付け。津和野温泉なごみの里 (71,140)。泊まる。

2004. 5. 2 (日) 術後37日目 退院21日目

10時過ぎから馬鈴薯の芽カキと追肥をやる。野菜も動物も人間も、愛情を注いで世話をすればそれなりの成果が上がるという。午後にもかかる。のち畑の草刈り。五寸人参の種まき。思ったほど仕事が捗らない。わさびを採りに行く。阿東町願成就温泉 (71,141)。夜半から雨。泊まる。

2004. 5. 3 (月) 術後38日目 退院22日目 憲法記念日

午前曇。インゲン豆の種を播く。午後は雨の中をメロン・キュウリの種蒔き。先日刈った草の後始末。ふきをとる。津和野温泉 (71,142)。泊まる。

2004. 5. 4 (火) 術後39日目 退院23日目 国民の祝日

朝萩に帰るつもりであったが農業法人の仕事が入る。飼料稲の籾に薬を塗布して乾燥させる。午後は法人の田植え関係の作業担当表を配布、佐賀大医の病友に手紙を書く。萩に帰る。萩本陣温泉 (71,143)。

2004. 5. 5 (水) 術後40日目 退院24日目 こどもの日

朝地鎮祭が行われた。のち大工2人と計3人で不燃物の始末。午後は肥土をネコ車で移動。なかなか

捗らない。急に暑くなったせいか、身体がついて行かずダラシイ。自然薯を掘る。木の根があり中々大変。阿武川温泉 (71, 144)。

2004. 5. 6 (木) 術後41日目 退院25日目

朝から土建屋さんが来る。重機をもってくる。源平ウツギを移動移植して貰う。簡単そのもの。自然薯が出てきてこれもカポツ。手で掘るとなかなか捗らないが、さすが重機。奇麗で簡単。軽トラを借りて、鉄パイプや木ぎれなどを田舎に持ち帰る。重たい物も少し抱えたためかちょっと足の調子がおかしい。阿武川温泉 (71,145)。夜10時過ぎ九州温泉巡りに出発。小倉スパリゾートパピリオ曾根の湯 (72,146)。

2004. 5. 7 (金) 術後42日目 退院26日目

朝足が腫れていて重たい。昨日・一昨年の仕事がきつかったのかな。自分では可能な範囲だと思っているのだが。10時頃佐賀大医骨・関節病棟に行く。坂本氏・古賀氏に会う。順調に回復しているようだ。山本裕美子氏にも会う。来週水曜日位に退院と言っていた。

鹿島の祐徳稲荷に詣る。社殿のゆったら～とのんびら～とでつぶら～とさにびくら～と。祐徳温泉宝の湯 (73,147)。肥前町国民宿舎いろは島に宿泊。いろは島温泉 (74,148) の湯は最高。ぬるぬるすべすべ、今まで体験したことのないすべすべ感。これを美人の湯といわずなんといおうか。景色も絶景・温泉もよし。建物は古し。

2004. 5. 8 (土) 術後43日目 退院27日目

朝は気に入っているいろは島温泉 (74,149/150) に2回浸かる。とにかく最高。宿舎の前の突堤でキスを釣っている居り。見物並びにお話をしをする。この近辺に元寇がやって来たとか、鍋島藩の隠し土地であったとか。だからこの辺りでは鶏を飼わなかったとか言うお話。浜玉町やすらぎ荘 (75,151)。春日市福の湯春日店 (76,152)、同店岩盤浴福蒸洞 (77,153)。いろは温泉のすべすべを落としてしまった感じだ。

夜は最後の勤務校であった萩工高の同窓会総会にでる。飲むことも大丈夫。

2日間で走行距離約600km。

2004. 5. 9 (日) 術後44日目 退院28日目

朝帰省。今日飼料稲の直播きをするという。種籾の薬を塗ったとき、金平糖のようになったので、卸さないと機械に掛かるだろうという。卸しを借りて

電話する。

今日は雨風がひどいので、昨日やってしまった。チョン。

畑仕事は出来ず、休養をする。津和野温泉(77,154)。ジェットで足の甲・踝を直撃。まだ腫れがある。泊まる。

2004. 5. 10 (月) 術後45日目 退院29日目

畑仕事を少々。種を播くために草を刈り綺麗にする。不耕起栽培をすることにしているので、畑全体を耕すことはしないです。午後自然薯の植え付け。萩に帰る。

なんか卓球が出来そうな感じがする。夜今まで休んでいた卓球クラブに行く。そう激しく動くことは控えているがラリーをするぐらいのことは出来る。仲間も2年間のブランクを感じさせないなどおだててくれる。約2時間いた。

温泉は今日は休む。

2004. 5. 11 (火) 術後46日目 退院30日目

夢のみずうみ村へデイケアに行く。脳からくる麻痺による手足の不自由な人が、かなわない片手で針に糸を通したり、綿を詰め込んだりして懸命に人形作りをしている。どうしても出来難いものを小生お助けマンがやる。プールでは水流に従い、逆らい歩いたりバタ足で泳いだり1時間浸かっていた。

(77,157) 麻痺の人も一生懸命歩いている。麻痺は手術は出来ないのだろうか。自分などは幸せだ。のち周南市鹿野グリーンハイツ(78,156)。徳地町柚木慈生温泉(79,157)。田舎に泊まる。

2004. 5. 12 (水) 術後47日目 退院31日目

先日背負いの草刈り機を購入。説明書と工具を持ってくる。いっとき話をする。

午後は友達に軽トラを借りて萩に帰り、ロウバイ(2月頃咲く)やいろんなものを積んで田舎に帰りロウバイは植えつける。今日退院した山本裕美子氏の所に寄ってみる。

立ったままでズボンがはける。うれしか。ウレシカ。むつみ温泉(79,158)。田舎に泊まる。

2004. 5. 13 (木) 術後48日目 退院32日目

朝から雨。激しく降ったり小降りになったり。種蒔きは出来ない。午前中はワープロを打ちながらウトウト。午後法人の人が来て、飼料稲の直播きをした田圃を見に行く。まだ、芽は出ていない。終日雨。パソコンを相手の終日。

夜は萩に帰って1時間半ほど卓球。後萩本陣温泉(79,159)。

特に異状は感じない。風呂の中でアグラをかくことが出来だした。

2004. 5. 14 (金) 術後49日目 退院33日目

朝息子が使っていた洗濯機を車に積んで田舎に帰る。距離は約32km。所要時間約30分。一人で積み卸しが出来た。

午前1時間ほど、草刈り機で、隣と自分の家の裏の草刈り。午後は道の沖の土手の草刈り。いずれも傾斜あり。夕方畑が大分乾いたので、チシャ・なすび・ピーマン・蕪の種蒔き。源平ウツギの挿し木もやってみる。

時々、切り口が引っ張る感じがするときがある。足の甲の腫れは退いた。太股はなかなか太股にならない。願成就温泉(79,160)。福賀(田舎)に泊まる。

2004. 5. 15 (土) 術後50日目 退院34日目

立ち上がって直ぐに動きにくいことが時々ある。働きすぎなのだろうか。午前昨夜水にかして(浸けて)おいた落花生の種蒔き。オクラ・カブの種も播く。思っているほど畑仕事が進まない。なかなか佛淵教授の手術のように時間通りにはいかないものだ。

午後は萩に帰る。畑仕事用眼鏡(温泉用も含む)のレンズ注文。種物屋で注文していたエゴマの種を購入。萩指月温泉(79,161)。

2004. 5. 16 (日) 術後51日目 退院35日目

朝から雨。エゴマの種を友達にあげる。ワープロを打つが眠くなるので一休み。

午後は宇部の展示場へ。国立病院山陽病院に見舞い。抗がん剤は副作用がひどいのだろう。髪の毛が抜けていた。山陽町帆万里しおさいの湯(80,162)。

切り口が引っ張るような感じがしたり、左腰が少し痛かったり、左股の付け根に鈍痛があるような感じがすることが時々ある。足の甲が少し熱っぽい感じがする。

重たい感じがする。

そいぎんた～ なた～～

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は、地震・台風と災害に見舞われた1年でした（申年は、あまり良くない年と言われているみたいです）。今年は、平和な年でありますようにと心よりお願ひする次第です。股関節だよりに関しまして、去年は、都合により年に2回しか送付することができませんでした。患者様より次号はまだなのかというお電話があり、お待たせして本当に申し訳ございませんでした。

今年は、年3回は出していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、今回は、毎年お知らせしております、年間の股関節だより送付状況を掲載しております。昨年度は6月発刊で終わっておりますので、200名程度の増加でとどまっておりますが、本年度は、その分がさらに増加していると思ひます。おかげさまで患者様の人数は年々増え続けております。

1月より、整形外科の寄附講座として「人工関節学講座」がスタートしました。

助教授に馬渡正明先生が就任されまして、ますます忙しくなりそうです。

毎回、患者様からお手紙を頂き有り難く思っております。時々何通か、掲載させていただく予定ですので、これからもお手紙お待ちしております。

また、股関節に関しての質問がありましたら、いつでも手紙、メール等でご連絡ください。できるだけ、お答えしていきたいと思っております。

まだまだ、寒い日が続いております。お体ご自愛くださいませ。

お手紙、住所変更等の連絡先 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号
佐賀大学医学部整形外科医局内 股関節だより編集局 野中まで
TEL：0952-34-2343・FAX：0952-34-2059
メールアドレス seikei@post.saga-u.ac.jp
追伸：住所変更があった時は、ご連絡をお願いします。